



2023年度

しまぎん 縁結び交流会  
(経営情報説明会)



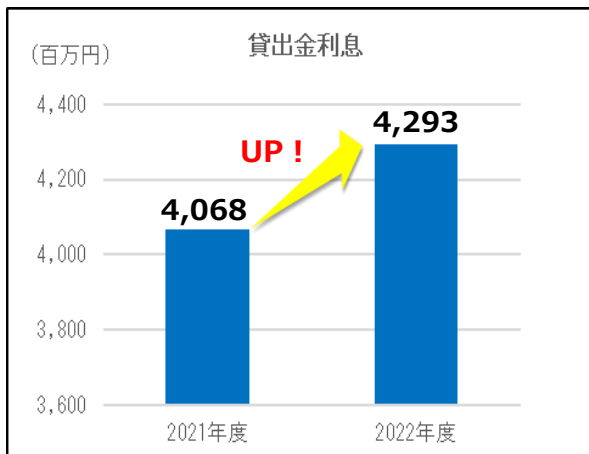
島根銀行



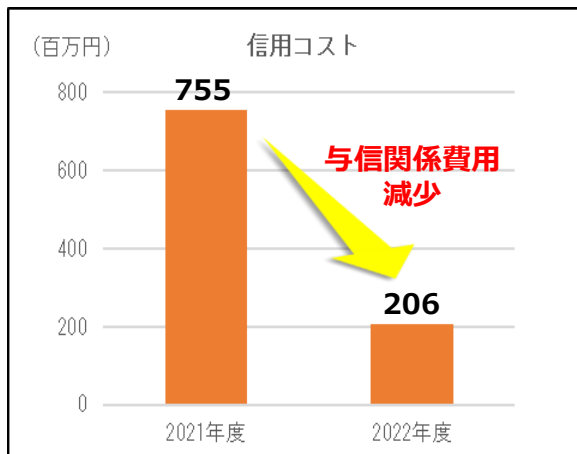
# 1.2022年度 単体決算のトピックス

➤ 貸出金利息の増加や予想を上回る当期純利益の確保等、中期経営計画の目標達成に向けて順調な滑り出し

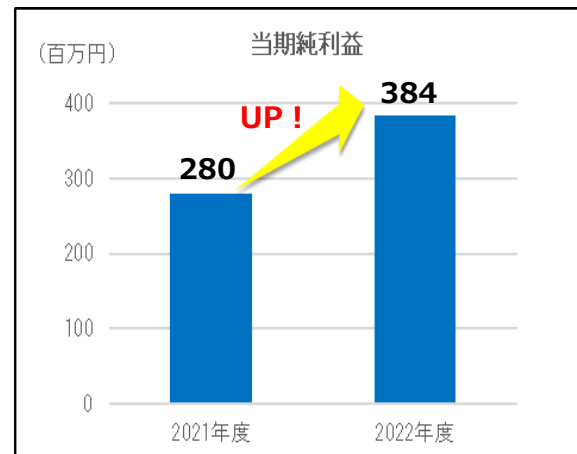
地元の中小企業に寄り添った  
創業支援や本業支援を実施



企業支援室を中心として  
経営改善支援・再生支援の取組を強化



トップライン強化、信用コスト減少により  
予想を上回る当期純利益を確保



## ポイント

### 【貸出金利息】

- 総合的な支援の実施によりお客様の企業価値向上を目指すなか、地元の中小企業向けに本業支援策を積極推進し、貸出金残高や事業性融資先数が増加したことに加え、個人向け住宅関連融資が堅調だったことから、貸出金利息は伸長

### 【信用コスト】

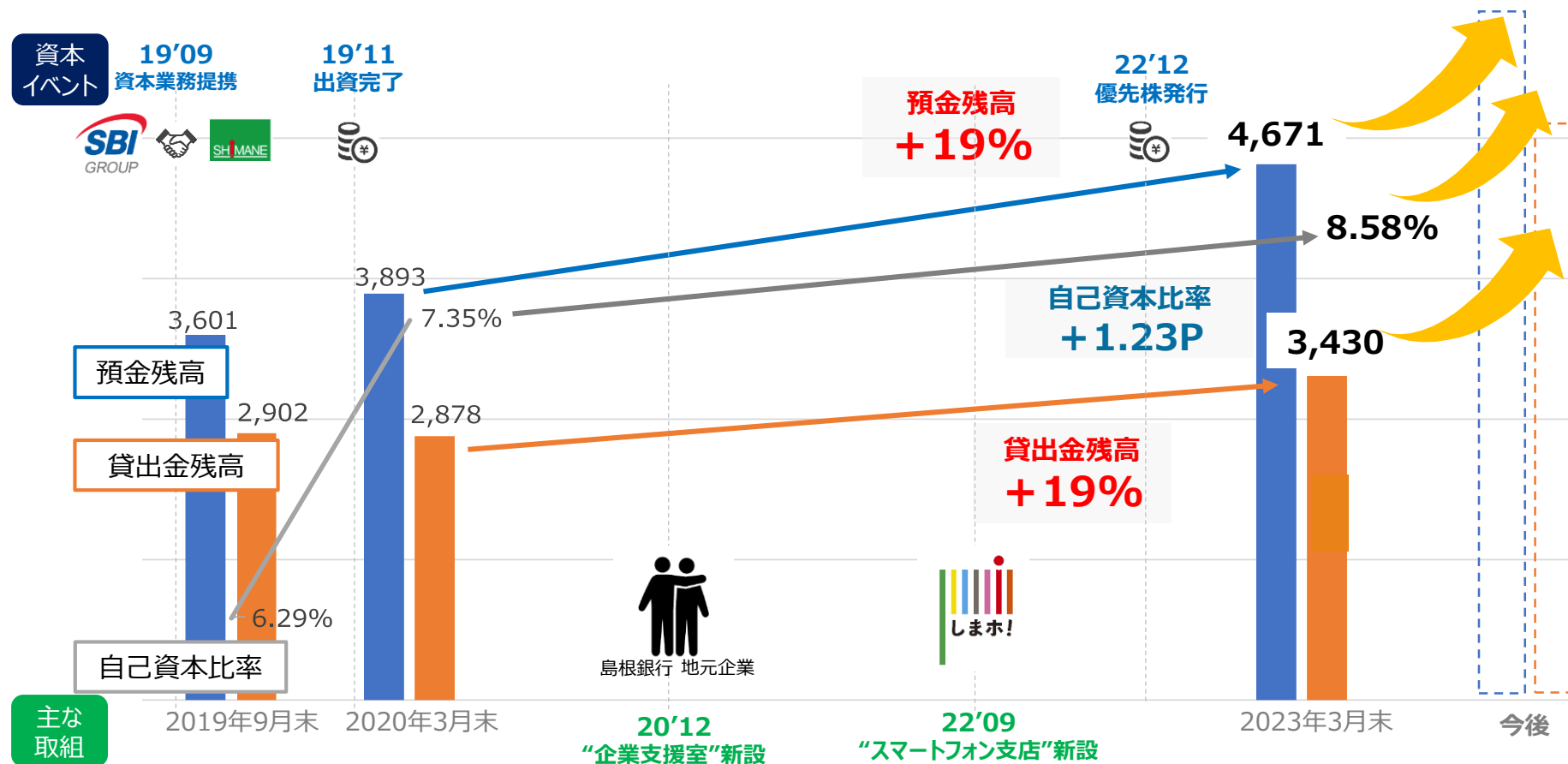
- 企業支援室を中心として、ウィズコロナ・アフターコロナの様々な経営課題の解決に向けた経営改善支援、再生支援等の取組が定着してきたことから、信用コストは減少。なお、2021年度は「株式会社 まつえ環境の森」が民事再生手続開始に係る信用コスト4億円があったが、2022年度は突発的な事象はなかった。

### 【当期純利益】

- スマートフォン支店やAPI接続等といった将来に向けた前向きな投資や、増資に伴う一過性費用の計上等あったものの、貸出金利息や役務取引等収益といったトップラインの強化が図れたことに加え、信用コストが減少したことで、2021年度実績および2022年度業績予想を上回る当期純利益を確保

## 2. 預金・貸出金残高、自己資本比率の推移

▶ 昨年12月には増資を実現。地元企業の支援を中心に、SBI提携後増加する預金・貸出金の更なる増加を目指す



### ポイント

- 2019年9月SBIグループとの資本業務提携後、コロナ禍で苦戦を強いられる地元企業・地元経済を支えるため、企業支援室の設置などにより、本業支援の取組を本格化したことで、貸出金残高が増加。こうした取組が地域でも評価されたことに加え、スマートフォン支店が順調に推移していることから、信用のバロメーターである預金残高も増加
- 2022年12月には、総額60億円の優先株式を発行し、自己資本比率は8.58%まで高まった

### 3.株主還元の方針

#### ▶ 更に安定した収益体質・盤石な経営基盤の構築を目指す

- 安定・継続した配当を目指して、今後は、更なる財務体質の強化、健全性の維持向上を図るとともに、お客さまの利便性・サービス向上に資するシステム投資等のための内部留保の充実に努める方針

	2018年度 (2019年3月末)	2019年度 (2020年3月末)	2020年度 (2021年3月末)	2021年度 (2022年3月末)	2022年度 (2023年3月末)
年間配当額	20円	0円	5円	10円	10円
(中間配当額)	(10円)	(0円)	(0円)	(5円)	(5円)
配当総額	111百万円	0百万円	42百万円	84百万円	84百万円

※上記配当総額は普通株式に係る配当の状況です。  
当行が発行する普通株式と権利関係が異なる種類株式（非上場）の配当は含んでおりません。

## 4. 中期経営計画の進捗状況

▶ 昨年4月より中期経営計画をスタート。アライアンス（連携）戦略でオープンイノベーションを加速化。目標達成を目指す

### 経営理念



▶ 地域社会の発展に貢献し、信頼され、愛される銀行となる。

▶ 常に魅力あるサービスを提供し、お客さまのニーズに積極的に応える。

▶ 創造力豊かで、活力にみちた、明るい人間集団をつくる。

### しまぎんSDGs宣言



▶ 地域社会の発展への貢献

▶ SDGsの達成に資する商品・サービスの提供

▶ 多様性を尊重した人間集団の形成

### 中期経営計画

夢への架け橋!  
～オープンイノベーションバンクしまぎん～

(2022年4月～2025年3月)

アライアンスで地域を活性化

環境配慮型の商品・サービスをデジタルの力で全国へ展開

行員の主体性に任せて地域活性化を促進

### 数値目標

2025年3月期

(参考) 2023年3月期

収益性	コア業務純益 当期純利益	10億円 5億円	4.4億円 3.8億円
健全性	自己資本比率	8%台	8.58%

最近の特徴的な事例  
(次ページ以降)

## 5 -1.特徴的な事例①：アライアンスで地域を活性化

### ① 複合施設「WINDY FARM ATMOSPHERE」が完成！



- 当行が（株）バルニバービ、SBIホールディングス（株）、出雲アトラティブ（株）と連携して、進めてきたプロジェクト



島根銀行



SBI Holdings



BALNIBARBI



出雲アトラティブ

- （株）バルニバービによる総合プロデュース（複合施設の運営を含む）のもと、これまで見逃されてきた出雲市の湖陵西海岸に面した土地に、複合施設「WINDY FARM ATMOSPHERE」が建設され、今年5月1日にオープン！



“崖の中”の自然一体型ホテル「IZUMO HOTEL THE CLIFF」



島根の食材、薪火を使った夕日を望める185席の大型レストラン「GARB CLIFF TERRACE IZUMO」



ハンバーガーやご当地食材のアイスクリーム等を販売する複合施設「出雲・湖陵パーキングエリア」

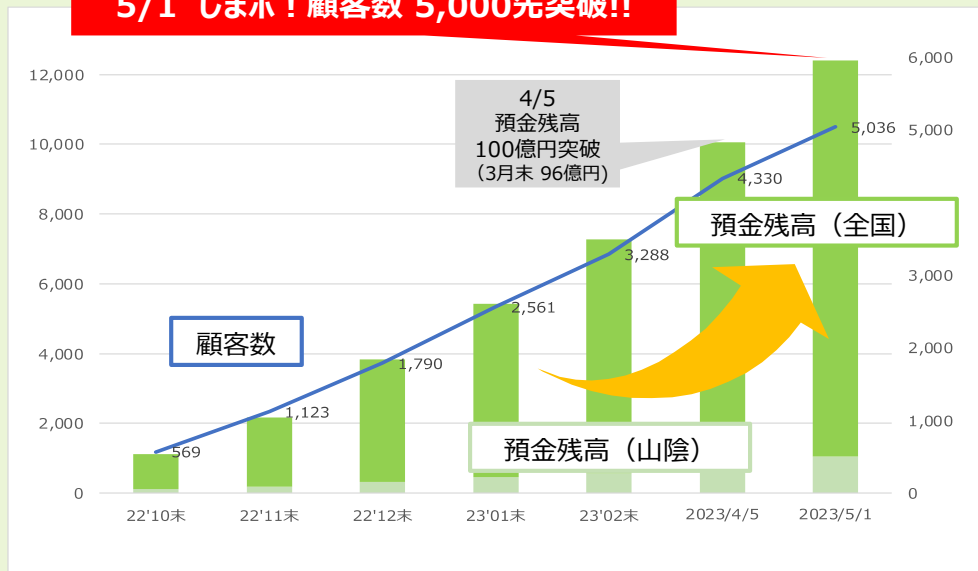
## 5-2.特徴的な事例②：環境配慮型の商品・サービスをデジタルの力で全国へ展開

### ② スマートフォン支店「しまホ!」を開設！！

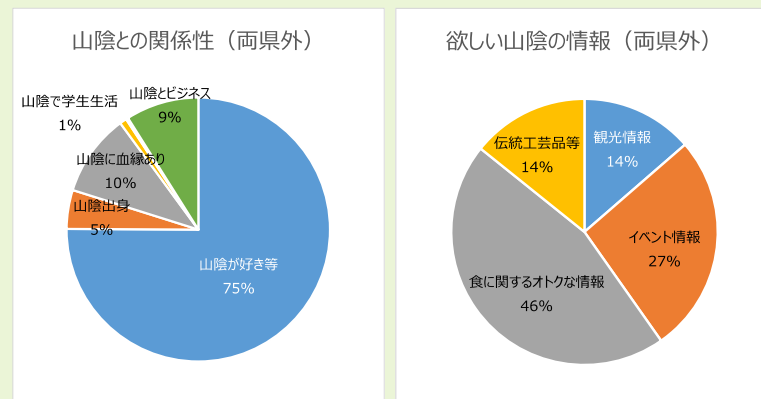


- 地域経済、そしてこれを支える当行が持続的に発展するため、デジタルの力で、当行だけでなく、地元企業・地域経済も含めて、商圈を地元（リージョナル）から全国（ネーションワイド）に広げる基本戦略
- 2022年9月にしまホ!を新設。全国の山陰にゆかり・興味のある方々などに、山陰のファンとなって頂くことを目指し、まずは**通帳レス・印鑑レス・キャッシュカードレスの環境配慮型で、好金利を実現した「しまぎんふるさと普通預金」などの提供**によって、しまホ!の顧客拡大に注力

5/1 しまホ! 顧客数 5,000先突破!!



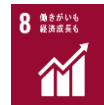
全国（山陰両県外）のお客さまへのアンケート結果  
（2023年3月末現在）



- この結果、2023年5月1日に**しまホ!顧客数が5,000先を突破!**。山陰両県以外のお客さまが約9割、このうち3割弱が山陰にゆかりがある方、残りの7割強が山陰に興味がある方となるなど、良質な山陰のファンを獲得
- 今後は、こうした山陰のファンに対して、**山陰の魅力をもっと知って頂くための取組を企画し、山陰のものを購入して頂いたり、山陰を訪れて頂くことを目指している**

## 5-3.特徴的な事例③：行員の主体性に任せて地域活性化を促進

### ③ 産学金連携による観光コンテンツとしての新たな価値の創出



- 観光遊覧船運行事業を営む白鳥観光（有）（松江市）の事業チャンス拡大のため、若手行員が主体的に松江市立皆美が丘女子高等学校の学生と連携し、宍道湖遊覧船「はくちょう号」の観光コンテンツとしての新しい価値の創出を支援
- 「はくちょう号」のライトアップを企画、補助金申請やクラウドファンディングを活用した資金集めに挑戦。このほか、SNSによる認知度向上、乗船者限定スイーツの企画・販売、フォトスポットの設置など、学生のアイデアをもとにした企画を実践





事前に株式会社島根銀行の許可を得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配付することを禁止いたします。

本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。

